

## 令和 4(2022)年度 学生による授業評価アンケートの分析

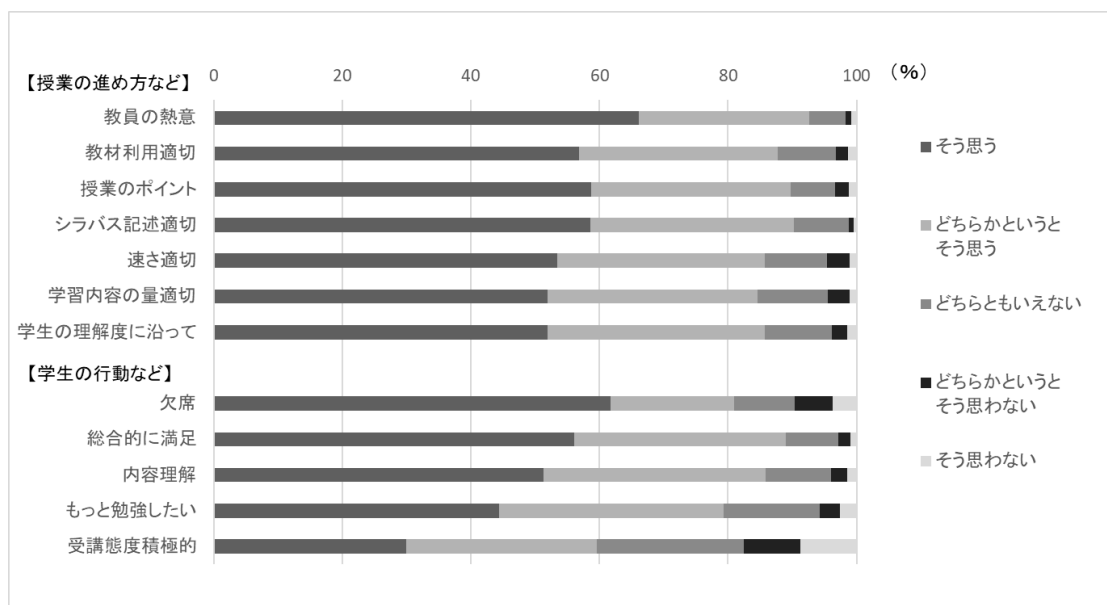
令和 5 年 2 月 22 日

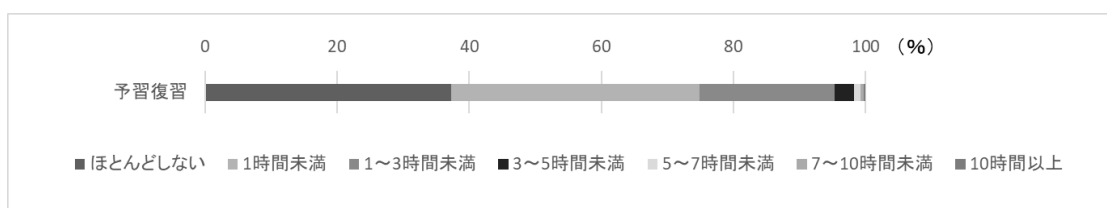
IR センター

桂瑠以

令和 4 (2022) 年度前期の学生による授業評価アンケートは、7 月 4 日から 10 日の 7 日間、原則として全ての専任教員担当科目と任意参加の非常勤講師担当科目について実施された。実施科目は 356 科目であり、学生による平均の回答率は 55.8%であった。今年度は、前年度と同様、授業の進め方に関する 7 項目、学生の行動・理解に関する 6 項目を用いた。

分析の結果、授業の進め方に関する 7 項目では、全ての項目で約 80%以上の学生が適切である（そう思う、どちらかというと思う）と回答した。一方、学生の行動・理解に関する 6 項目では、もっと勉強したいで 80%以下、積極的な受講態度で 60%以下の学生が肯定的な回答であり、予習復習が 1 時間以下の学生が 75%程度であった。その他の項目では 80%以上が適切な行動・理解を示す回答であった（Figure 1）。この結果を令和 3 年度の結果と比較すると、おおむね同様の結果であり、今後、学生の積極的、自主的な受講態度、予習復習についての指導を行うことが望まれる。

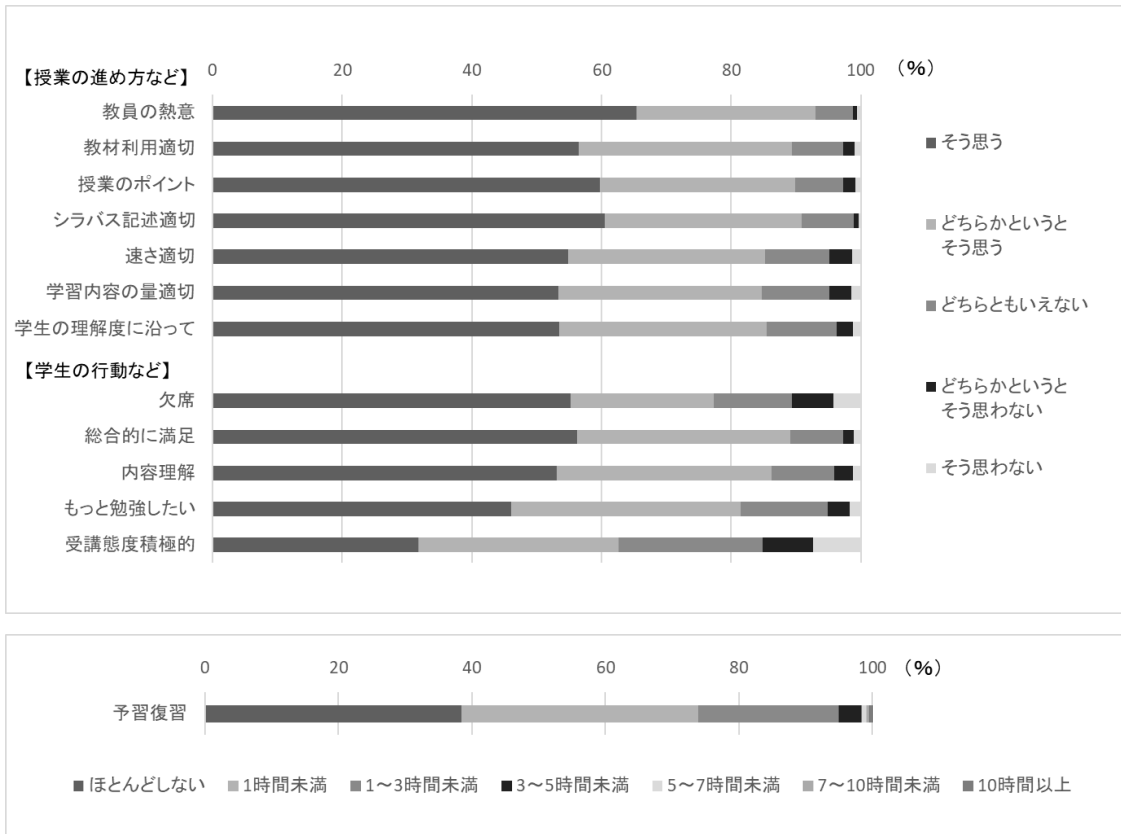




**Figure 1.** 令和 4 (2022) 年度前期講義科目における授業評価アンケートの回答項目別、回答カテゴリー別の相対度数。欠席は、左から 0、1、2、3、4 回以上を示す。予習復習のみ 7 件法、その他の項目は 5 件法。

後期の学生による授業評価アンケートは、12月5日から12月9日の5日間、原則として全ての専任教員担当科目と任意参加の非常勤講師担当科目について実施された。実施講義科目は431科目であり、学生による平均の回答率は59.1%であった。

分析の結果、前期と同様に、授業の進め方に関する項目では、全ての項目で約80%以上の学生が適切である(そう思う、どちらかというと思う)と回答した。一方、学生の行動・理解に関する6項目では、欠席が前期よりやや増加する傾向が見られたが、欠席が0回という回答が過半数であった。また、前記よりやや上昇傾向が認められたものの、積極的な受講態度で70%以下の学生が肯定的な回答であり、予習復習が1時間以下の学生が75%程度であった。その他の項目では80%以上が適切な行動・理解を示す回答であった(Figure 2)。この結果を令和3年度の結果と比較すると、もっと勉強したいという回答がやや上昇したものの、おおむね同様の結果であり、学生の積極的・自主的な受講態度を促すことや、予習復習についての指導を行うことが望まれる。



**Figure 2.** 令和 4 (2022) 年度後期講義科目における授業評価アンケートの回答項目別、回答カテゴリー別の相対度数。欠席は、左から 0、1、2、3、4 回以上を示す。予習復習のみ 7 件法、その他の項目は 5 件法。